

製品名: Cdc23 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08503**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	69kDa

抗原情報

遺伝子名	CDC23
別名	CDC23; ANAPC8; Cell division cycle protein 23 homolog; Anaphase-promoting complex subunit 8; APC8; Cyclosome subunit 8
遺伝子 ID	8697.0
SwissProt ID	Q9UJX2
免疫原	抗血清はヒト APC8 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 251-300

背景

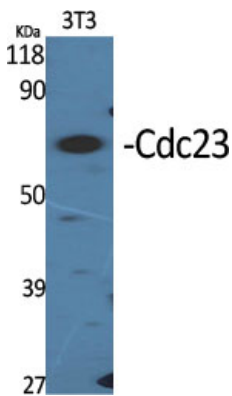
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞周期の G2/M 期移行に必須のタンパク質であるサッカロミセス・セレビスエ

(*Saccharomyces cerevisiae*) の Cdc23 と高い相同性を示す。このタンパク質は、8つのタンパク質サブユニットから構成され、真核細胞において高度に保存されている後期促進複合体 (APC) の構成要素である。APCは、サイクリン B-ユビキチン複合体の形成を触媒し、この複合体はユビキチンを介した B 型サイクリンのタンパク質分解を担う。このタンパク質と APC 複合体の他の3つのメンバーは、タンパク質間相互作用に重要なタンパク質ドメインである TPR (テトラトリコペプチドリピート) を含む。 [RefSeq 提供、2008年7月]、機能: 細胞周期制御性ユビキチンリガーゼである後期促進複合体/サイクロソーム (APC/C) の構成要素であり、有糸分裂および細胞周期の G1 期の進行を制御する。、経路: タンパク質修飾; タンパク質ユビキチン化。、PTM: リン酸化。Thr-556 のリン酸化は、有糸分裂中に特異的に起こる。、類似性: APC8/CDC23 ファミリーに属する。、類似性: 9つの TPR リピートを含む。、サブユニット: APC/C は少なくとも 11 のサブユニットから構成される。、

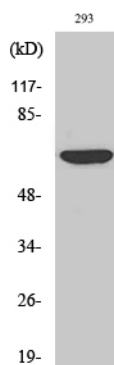
研究分野

Cell_Cycle_G1S;Cell_Cycle_G2M_DNA;卵母細胞減数分裂;ユビキチンを介したタンパク質分解;プロゲステロンを介した卵母細胞成熟;

画像データ



Cdc23 ポリクローナル抗体 (1: 2000 希釈) を用いた各種細胞のウェスタンブロット解析



Cdc23 ポリクローナル抗体 (1: 2000 希釈) を用いた COS7 細胞のウェスタンブロット解析